

廃プラスチック利用 新建材製造事業とは

市の基幹産業である林業や木製品製造業などにおける端材・切り粉などと、木質建設廃材や家電リサイクル工場における廃プラスチック、市内誘致企業などからの廃プラスチックを活用し、新しい木質素材を製造します。

プラスチックと木材を融合した新しい住宅建材は、循環型社会の新しい試みとして注目を集めています。

秋田ウッド(株)では、デッキやベンチ、建具、サッシ、フローリング材などを製造する計画です。

秋田ウッド(株)の概要

本社 白沢字松原570番地

資本金 8、500万円

工場 鉄骨平屋1部3階建て

延べ床面積3、750㎡

従業員数 9人(将来は25人体制を目指しています。)

総事業費 142、862万円

うち国補助金 71、431万円

県補助金 1、000万円

同社は、大館市工場等設置促進条例に基づく「指定工場」として指定されました。

製造プロセス

分別



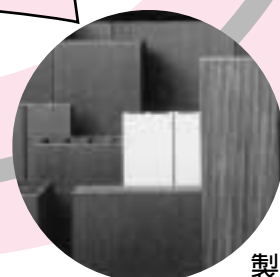
破碎・金属除去



融合・造粒



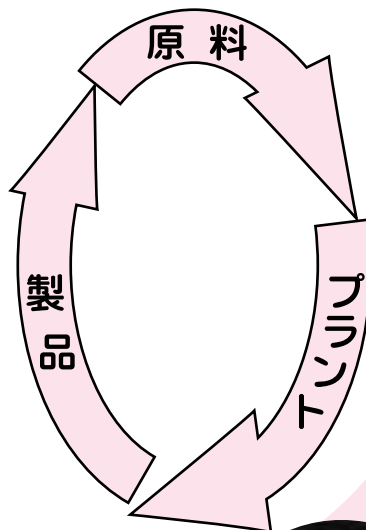
成型・加工



製品

組立

製品は使用後回収され、原料として活用されますので、再リサイクルされます。



材料 (廃材・廃プラスチック)

木質系廃材



木質、製材工場加工端材

建築廃材

パレット

プラ系廃材



資源有効材

家電

容器包装材

産業用廃プラ・その他

用途・製品

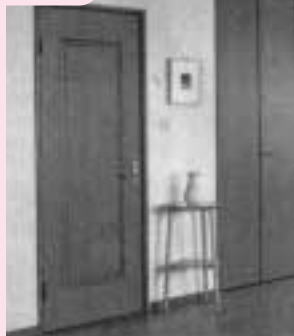
サッシ



デッキ



建具



フローリング

